

# 昭和大学新聞

学校法人 昭和大学  
 発行人 小口勝司  
 電話 (3784) 8000 〒142-8555  
 東京都品川区旗の台1の5の8  
 1部50円 毎月1回発行

## 8月号の内容

- 1面
  - 昭和大学病院PCRセンター設置
  - 教育研修棟竣工式を挙行
- 2面
  - 小野賢二郎教授らの研究グループがミリスチンのアルツハイマー病に対する有効性を示唆
  - カンナビノイドを用いた共同研究・事業化に向け包括連携契約を締結
  - 認定看護管理者教育課程開講式
  - 昭和大学奨学金奨学生採用式
- 3面
  - 令和3年度科学研究費助成事業採択課題一覧(医学部)
- 4面
  - 富士吉田キャンパス体育祭
  - 昭和大学上條記念ミュージアム企画フォトコンテスト開催
  - 昭和大学リカレントカレッジの活動報告
  - 昭和大学各附属病院へのご支援の御礼
  - 昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
  - 就任のお知らせ

## 【問合せ先】

【本紙について：総務課大学広報係】  
 03-3784-8059  
 press@ofc.showa-u.ac.jp  
 【各種募金・寄付について：企画課】  
 03-3784-8387  
 【学事について：学務課、大学院課、入学支援課】  
 03-3784-8022(旗の台)  
 0555-22-4403(富士吉田)  
 045-985-6503(横浜)  
 03-3784-8026(入学支援課)

## 「昭和大学病院PCRセンター」設置

4月1日、「昭和大学病院PCRセンター」が設置された。同センターは、令和2年5月22日に旗の台キャンパスの1号館内に開設した「新型コロナウイルス対応PCRセンター(学内PCRセンター)」を昭和大学病院に移管したものである。

本学各附属病院の発熱外来受診者、入院および入院予定の患者、体調不良の職員・学生のほか、病院実習前の学生、富士吉田キャンパス入寮前の学生および職員のスクリーニング検査など、1日あたり平均で約200〜250人分の検体検査を行っている。

## PCRセンターの活動に1057



昭和大学病院PCRセンター長  
木内 祐二

昭和大学では、附属病院の発熱外来受診者と手術予定患者の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)への感染の有無を判定する目的で、令和2年5月22日に旗の台キャンパスの1号館4階に新型コロナウイルス対応PCRセンター(本年4月から昭和大学病院PCRセンター)を開設しました。設立のきっかけは、附属病院の医師から「発熱外来受診者のPCRの検体を民間の検査会社に出すと結果が判るまで数日かかる。学内の基礎系の研究者と機器を集めてもっと迅速にできないか」という要望があったことです。

これを受け、大学の強力な支援と、医・歯・薬学部の基礎系教育職員の協力のもと、PCRセンターの構想を練り2週間程度の短期間で準備を進めました。設立後すぐに、品川区保健所から衛生検査所の認可を得て、PCR検査の対象を附属病院、昭和大学病院、東病院、江東豊洲病院、歯科病院の全入院予定患者のスクリーニング(上記病院以外は横浜市北部病院で実施)、4学部および看護専門学校学生の臨地実習前、1年生の富士吉田キャンパス入寮時、体調不良の病院スタッフ・職員・学生などの検査まで広げました。本年7月末までに約6.4万検体を検査し、

1,260件以上のSARS-CoV-2陽性検体を検出しています。また、本年3月以降は、陽性検体の変異株(デルタ株、アルファ株、ベータ株など)判定も行っています。

6月30日、旗の台キャンパスに完成した新校舎「教育研修棟」の竣工式を挙行了し、梅雨空の下、真新しい姿を披露した教育研修棟は地上3階建てで、昭和大学リカレントカレッジ(社会人の

ナ禍で切迫している医療や社会、学生教育の役に立てれば」という「至誠一貫」に基づく高い意識と、日頃の分子生物学的な知識と技術を用いて、チームでPCR検査を実施し、迅速に精度の高い結果を出しています。

医系総合大学の本学ならではの「オール昭和」の体制で、昭和大学病院PCRセンターの活動を継続し、附属病院の新型コロナウイルス感染症治療とともに、安全・安心な大学教育と医療を支えていきたいと思えます。



昭和大学病院PCRセンター

## 「教育研修棟」竣工式を挙行

6月30日、旗の台キャンパスに完成した新校舎「教育研修棟」の竣工式を挙行了し、梅雨空の下、真新しい姿を披露した教育研修棟は地上3階建てで、昭和大学リカレントカレッジ(社会人の



竣工式：神事



教育研修棟 外観

アカデミックな学びの場で使用する講義室や、シミュレーターなどの最新設備を配備した研修室がある。これらの最新設備は、学生の

実習・演習、卒後の研修などにおいて、主に基本的な技や専門的な技術の修練に最大限に活用していく。

## PCR検査従事者一覧 (従事期間：2020年5月22日～2021年7月30日)

※敬称略

医学部 薬理学講座医科薬理学部門 木内 祐二  
 薬学部 臨床薬学講座感染制御薬学部門 石野 敬子  
 遺伝子組換え実験室 石川 文博  
 医学部 薬理学講座医科薬理学部門 宇高 結子  
 薬理科学研究センター 小山田英人

### 【医学部】

解剖学講座顕微解剖学部門 大滝 博和 / 澤 智華  
 生理学講座生体制御学部門 安達 直樹  
 生理学講座生体調節機能学部門 上條翔太郎  
 生化学講座 金山 朱里 / 宮崎 拓郎  
 臨床病理診断学講座 木村 聡 / 村井 聡  
 薬理学講座医科薬理学部門  
 佐々木晶子 / 小口 達敬 / 岩瀬万里子 / 海野 真一  
 内川 雅子  
 薬理学講座臨床薬理学部門 三邊 武彦  
 微生物学免疫学講座  
 伊與田雅之 / 石川 裕樹 / 久野 芳裕 / 長島 隆一  
 医学教育学講座  
 高宮 有介 / 土屋 静馬 / 古田 厚子  
 内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門 大森 亨  
 内科学講座脳神経内科学部門 森 友紀子

### 【歯学部】

口腔解剖学講座 馬谷原光織  
 口腔生理学講座 望月 文子  
 口腔生化学講座 須澤 徹夫  
 口腔微生物学講座 桑田 啓貴 / 森崎 弘史  
 歯科薬理学講座  
 高見 正道 / 坂井 信裕 / 唐川亜希子 / 茶谷 昌宏  
 畔津 佑季  
 歯周病学講座 山本 松男 / 相澤 怜 / 菅野真莉加  
 歯科補綴学講座 浦野 絵里  
 口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門 椋代 義樹  
 歯科矯正学講座  
 長濱 諒 / 瀧澤 秀臣 / 高橋 侑嗣 / 森川 金汰  
 河合 良太 / 濱田富次朗  
 口腔病態診断科学講座口腔病理学部門  
 安原 理佳 / 田中 準一  
 インプラント歯科学講座 清原 秀一  
 全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門 西村 晶子  
 スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門  
 伊澤 光  
 スペシャルニーズ口腔医学講座障害者歯科学部門  
 嘉手納未季

### 【薬学部】

薬学教育講座教育企画・評価学部門 小林 靖奈  
 基礎薬学講座生体分析化学部門  
 加藤 大 / 松林 智子  
 基礎薬学講座生物化学部門  
 板部 洋之 / 澤田 直子 / 牧山 智彦 / 渡邊 雄一  
 基礎薬学講座腫瘍細胞生物学部門 日暮 大渡  
 基礎医療薬学講座毒物学部門 沼澤 聡  
 基礎医療薬学講座薬理学部門  
 柴田 佳太 / 古林 創史  
 基礎医療薬学講座生理・病態学部門 巖本 三壽  
 基礎医療薬学講座薬剤学部門  
 村山 信浩 / 藤田 吉明 / 齊藤 清美  
 基礎医療薬学講座薬物動態学部門 田島 正教  
 社会健康薬学講座医薬品評価薬学部門  
 岩井 信市 / 亀井 大輔  
 社会健康薬学講座社会薬学部門  
 岸本 桂子 / 赤川 圭子  
 社会健康薬学講座衛生薬学部門  
 中谷 良人 / 桑田 浩 / 依田恵美子 / 佐々木由香  
 臨床薬学講座薬物治療学部門  
 大林 真幸 / 里 美貴  
 臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門  
 竹島 功高 / 松本奈都美  
 臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門  
 千葉 正博 / 唐沢 浩二

### 【保健医療学部】

看護学科 下司 映一  
 作業療法学科 峯岸 玄心 / 古賀 誠

### 【富士吉田教育部】

荒田 悟 / 佐野 佳弘 / 前田 昌子 / 久光 隆  
 剣持 幸代

### 【先端がん治療研究所】

山岡 利光 / 今村 知世 / 吉田 玲子 / 長谷部友紀

### 【臨床薬理研究所】

龍 家圭

### 【臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学】

細沼 雅弘

### 【保健管理センター】

田中 大介

### 【遺伝子組換え実験室】

橋本 光正

# 小野賢二教授らの研究グループが ミリセチンのアルツハイマー病に対する有効性を示唆

小野賢二教授、木村篤史助教(医学部内科学講座脳神経内科学部門)と辻まゆみ教授(薬理科学研究センター)を中心とする研究グループは、アルツハイマー病の病因蛋白(Aβ)の一種であるAβ1-42毒性オリゴマーに対し、天然フラボノールのミリセチンが神経細胞保護効果を示し、アルツハイマー病の進行を抑制する可能性を示した。本研究成果は国際学術誌であるFree Radical Biology & Medicineにオンライン発表された。

アミロイドβ蛋白(Aβ)の過剰な蓄積は、アルツハイマー病(Alzheimer's Disease: AD)の病因における主要なメカニズムの一つである。Aβの凝集・蓄積は、リン酸化タウを通じて最終的にはADにおける神経細胞死につながる事が知られている。単量体のAβは凝集過程でより毒性の強いオリゴマーを形成するが、特に高分子Aβオリゴマーの1つであるプロトフィブリルは、強い酸化傷害作用を持ちADの疾患修飾療法の標的になる。一方、ミリセチンは果物由来の天然フラボノールの1つで、強力な酸化作用を持つため、近年神経変性疾患に対する保護作用が注目されている。今回の研究の目的は、ヒト神経細胞モデルを用いて高分子Aβオリゴマーの神経毒性に対するミリセチンの保護効果の詳細なメカニズムを明らかにすることであった。

本研究では、まず単量体Aβをインキュベートし、高速液体クロマトグラフィーを用いて高分子Aβオリゴマーを精製分取した。これをヒト神経細胞モデルである神経芽腫細胞(SH-SY5Y)細胞へ処置し複数の細胞アッセイで毒性機序を明らかにし、更にミリセチン処置を加え、その保護効果について検討した。

すなわち、細胞生存率、活性酸素種(reactive oxygen species: ROS)産生の測定に加え、細胞膜機能(脂質過酸化能・流動性・細胞内Ca<sup>2+</sup>濃度・静止膜電位・細胞膜電気の抵抗)、ミトコンドリア膜電位・ミトコンドリア局在性酵素種・マンガンスーパーオキシドジスムターゼ(MnSOD)・酸化還元型グルタチオン・アデノシン三リン酸濃度)の状態を評価した。また、撮取されたミリセチンが血管から脳へと、血液脳関門という生体内バリアを通過できるかどうか、サル型血液脳関門細胞in vitroモデルを用いて検討した。

高分子Aβオリゴマーにより、酸化傷害は増加し、細胞生存率は低下した。また細胞膜でも強い酸化ストレスの増加があり、細胞膜の流動性や機能が低下することが分かった。また、ミトコンドリア局在の活性酸素種も増加し、ミトコンドリアの機能低下に伴い、エネルギー産生低下や酸化ストレスに対する防御因子の減少も見られた。一方、ミリセチンはこれら酸化傷害と細胞生存率を改善し、Aβオリゴマーによる細胞傷害の要となる細胞膜やミトコンドリアにおいて酸化傷害を有意に抑制し、複数の機序で高分子Aβオリゴマーに対し保護的に働くことが分かった。特に、ミリセチンは直接的に高分子Aβオリゴマーの酸化傷害を抑制するだけではなく、神経細胞が本来持つ酸化作用を強化し、間接的にも防御機構として働く可能性が示唆された。また、脳血流関門モデルでは、ミリセチンが有意に血液脳関門を通過することが分かった。これらの結果から、今後ミリセチンがADの進行に対する疾患修飾化合物として活用できる可能性が示唆された。

# カンナビノイドを用いた 共同研究・事業化に向け 包括連携契約を締結

4月1日、学校法人昭和大学(以下「昭和大学」)は、新たな機能性素材として注目されているカンナビノイドを用いた研究に関して、プレミア・ウエルネスサイエンス株式会社(本社・東京都港区、代表取締役社長・細山紳二)との共同研究および事業化に向けた包括連携契約を締結した。大学が保有する医薬専門分野での高い基礎・応用研究力と、プレミア・ウエルネスサイエンス株式会社が新たな機能性素材事業の基盤としているカンナビジオール(cannabidiol: CBD)を組み合わせた、機能性素材の研究開発および実用化とそれに伴う知的財産の創出を目指す。

■共同研究の背景・目的  
人間や動物の体内には、身体調節機能ECS(エンド・カンナビノイド・システム)があることが、1990年代に発見された。ECSは、食欲、痛み、免疫調整、感情制御、運動機能、発達と老化、神経保護、認知と記憶など多様な生理機能を有し、細胞同士のコミュニケーション活動を支えている。近年の研究において、ECSは外部からの強いストレスを受けたり、加齢に伴う老化によって働きが弱くなることでカンナビノイド欠乏症になり、様々な疾患に繋がることが明らかになってきた。植物性のカンナビノイド化合物は、現在確認されているだけで114種類あり、特にその中の一つであるCBDは、ECSのみならず多様な薬理ターゲットに作用することが近年解明され、医薬品やサプリメントの新たな機能性素材として期待されている。また、2020年4月に厚生労働省がカンナビジオール

# 認定看護師教育課程 開講式 —ファースト・セカンドレベル—

2021年度認定看護師教育課程のファーストレベルおよびセカンドレベルの開講式を5月21日と6月11日、オンラインで開催した。

同課程は日本看護協会が資格認定を行っている制度で、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有する看護師を育成するために、「ファースト」「セカンド」「サード」3つの教育課程が実施されている。本学は全国の大学に先駆けて認定看護師教育機関として認定されており、3つの教育課程を実施している大学は本学を含め3校のみである。

開講にあたり、小川良雄昭和大学リカレントカレッジプリンシパルは「普段の仕事とは異なる新たな視点で、将来の組織管理・指導者としてのファーストステップを学び、セカンドレベル・サードレベルへステップアップし、認定看護師の資格を取得してほしい」と告辞を述べた。

サードレベルは8月20日に開講式が開催される予定である。



告辞：小川良雄プリンシパル



オンライン開催の様子

# 令和3年度 学校法人昭和大学奨学生採用式

令和3年度学校法人昭和大学奨学生採用式を6月18日に富士吉田キャンパス、6月21日に旗の台キャンパスでそれぞれ挙行了した。

今年度の採用者は医学部17人、歯学部10人、薬学部15人、保健医療学部18人の合計60人。小口勝司理事長から各学部の代表者へ採用証書が授与された。

小口理事長は挨拶で「みなさんに奨学金をお渡しできることをとてもうれしく思います。みなさんが、ここらゆくまで大学生活を堪能し、学業とともに人間性を磨き上げ、建学の精神である立派な医療人として社会で活躍されることを期待します」と述べた。



挨拶：小口勝司理事長(富士吉田キャンパス)

の輸入に必要な書類・審査を明文化したことで国内におけるカンナビジオールを用いた製品の輸入・流通が活発化してきた。

プレミア・ウエルネスサイエンス株式会社はカンナビジオール含むカンナビノイド化合物が持つポテンシャルについて、グローバルリサーチを重ね、製品実用化と流通に必要な事業ガイドラインを策定の上、各国研究機関との有識者ネットワークを構築する等、参入の準備を行ってきた。同社では、最終製品の用途・目的・剤型などを定義し、実用化に向けた研究開発を推進していく。(研究代表者・薬学部基礎医療薬学講座薬物動態学部門 佐藤均教授)

# 令和4年度 新入試制度を導入します

## 総合型選抜入学試験

対象 歯・薬・保健医療学部

WEB出願 9/1(水)~9/14(火)必着

試験日 <<1次>> 10/2(土) <<2次>> 10/23(土)

## 卒業生推薦入学試験

対象 全学部(医・歯・薬・保健医療)

WEB出願 11/1(月)~11/12(金)必着

試験日 11/27(土)

詳細については、必ず「令和4年度入学試験要項」をご確認ください。 ※最新情報は昭和大学受験生サイトをご覧ください。



# 令和3年度 科学研究費助成事業採択課題一覽（医学部）

令和3年度の科学研究費助成事業の交付は全体で317件が採択され、総計で3億3,456万2,807円が交付される。その内、医学部は134件が採択され、1億2,206万2,807円が交付される（令和3年度転入者含む）。

研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
新領域学術	生化学講座	講師	森戸 大介	2,000,000	ユビキチン化異常を起点とする血管障害の統合的理解と創薬
		准教授	大滝 博和	1,200,000	プロリン置換酵素 Pin1 の視床機能制御と加齢性神経変性疾患への関与
	解剖学講座 顕微鏡解剖学部門	教授	土肥 謙二	1,800,000	神経ペプチド PACAP の熱中症による全身および神経炎症抑制機構の解明
		教授	本田 一穂	1,100,000	内皮グリコキアリクス強化を戦略とする新たな血管保護療法の開発
救急・災害医学講座	助教	康 徳東	1,100,000	質量分析法を用いた抗凝固剤治療の病態解明と疾患関連バイオマーカーの検出	
	講師	井上由理子	1,200,000	酸化ストレスと知覚神経過伸長の関係一褥瘡圧追モデルマウスによる神経解剖学的研究	
	教授	砂川 正隆	600,000	漢方薬によるオキシトシンの分泌促進作用	
解剖学講座 顕微鏡解剖学部門	講師	安達 直樹	600,000	周産期ストレスによる神経幹細胞分化への影響とそのメカニズム	
	講師	高山 靖規	1,300,000	植物由来天然化合物による Piezo1 阻害を介した大腸がん抑制と正常細胞の保護	
	教授	泉崎 雅彦	1,000,000	呼吸性視覚フィードバックによる呼吸リハビリテーションの開発に向けた生理学的検討	
	客員教授	鬼丸 洋	800,000	転写因子 Phox2b を発現する延髄内細胞の低酸素及び高炭酸ガス受容機構の解明	
解剖学講座 肉眼解剖学部門	准教授	政岡 ゆり	1,500,000	嗅覚からアプローチする認知症予防法の創出ー嗅覚刺激は神経を再生させるのかー	
	准教授	飯塚真喜人	700,000	吸嚙リズムを形成する神経回路網の解明	
	助教	内田 有希	1,100,000	新規冷受容分子 TREK と女性ホルモンに着目した女性の冷えのメカニズムの解明	
生理学講座 生体調節学部門	普通 研究生	大嶽 浩司	600,000	術前軽度認知障害が術後認知機能に及ぼす影響の検討	
	教授	宮崎 章	1,100,000	NAFLDおよび耐糖能異常における肝血管内皮細胞由来分枝アミノ酸の意義	
	客員教授	三田 雅敏	1,100,000	ヒトでの生体調節刺激ホルモンの作用機構：受容体との相互作用と放卵のメカニズム	
	准教授	金山 朱里	1,100,000	がん関連に発現する TGF-β 誘導性分子 Hic-5 を標的とした腫瘍の制御	
生化学講座	准教授	宮崎 拓郎	700,000	リンパ管内皮細胞を基軸とした動脈硬化制御機構の解明：免疫寛容不全の発病メカニズムを探る	
	講師	原口 省吾	600,000	加齢に伴う皮膚ステロイドホルモン環境の変容機構解明とその高齢者皮膚疾患への応用	
	講師	森戸 大介	700,000	もやもや病タンパク質の代謝制御機能	
	特別 研究生	大本 智勝	1,000,000	がん関連線維芽細胞を標的とした大腸がんの制御	
	准教授	塩沢 英輔	400,000	甲状腺原発性リンパ腫における FOXP1/IGH 融合遺伝子発現の検討	
	客員 教授	小口 勝司	600,000	悪性高熱症の遺伝子診断を目指した 1型リリアン受容体遺伝子変異体の作製と発現	
	講師	西村 有希	900,000	がん患者における健康食品と医薬品併用の安全性に関する研究	
薬理学講座 医科薬理学部門	講師	佐々木晶子	1,300,000	乳がん患者に対する化学療法後のしびれ症状改善を目指すハンドセラピー技術の開発	
	教授	内田 直樹	300,000	脳低温療法後の回復期における鎮静薬投与管理アルゴリズムの策定	
	教授	小風 暁	300,000	テラフォーカスのプレゼンチン阻害によるコヒーレントな影響に関する職域コホート研究	
衛生学公衆衛生学講座	講師	白澤 貴子	200,000	労働者における隠れ腹部肥満の疾病リスクに関する大規模前向きコホート研究	
	講師	吉本 隆彦	500,000	オフィスワーカーにおける座位行動と運動器疾患に関する縦断的研究及び介入可能性の探索	
	教授	松山 高明	800,000	ヒト心臓房室弁輪に潜在する未知の不整脈発生基質の組織学的探索	
法医学講座	教授	城 祐一郎	1,200,000	終末期医療における安楽死・尊厳死の法制化を目指すための国内的・国際的実態調査	
	客員 教授	中内 暁博	1,200,000	向精神薬・抗うつ薬の高精度・高感度分析システムの構築および臨床応用	
	准教授	石川 裕樹	900,000	インフルエンザウイルス感染に伴う細菌二次感染易感性の分子基盤解析と予防法確立	
	講師	久野 芳裕	400,000	腸内細菌の ANCA 関連腎炎への免疫学的関与の解明と病態制御への応用	
微生物学免疫学講座	教授	緒方 浩顕	700,000	尿毒症環境下の心血管組織における VD-VDR 活性化調節機構の解明	
	准教授	土屋 静馬	500,000	日本における医学生のレジリエンス育成教育プログラムの実践と継続的評価	
	講師	鈴木慎太郎	300,000	シミュレーションシステムによる反復学修はアナフィラキシーへの対応能力を向上させる	
内科学講座 呼吸器アレルギー内科学部門	講師	本間 哲也	100,000	フレイル合併 COPD 患者における多職種医療チームによる非薬物的介入の検討	
	准教授	矢嶋 宣幸	600,000	全身性エリテマトーデス患者の行動変容を促すモバイルヘルスシステム開発と効果検証	
	准教授	井上 嘉彦	500,000	高齢者慢性腎臓病に対するサルコペニア・フレイル予防を考慮した食事療法の開発	
内科学講座 リウマチ・膠原病内科学部門	講師	若林 邦伸	600,000	関節液由来線維芽細胞の免疫表現型解析による関節リウマチの病態解明への挑戦	
	助教	磯島 咲子	600,000	膠原病患者の疾患活動性と育児ストレス	
	助教	羽多野美香	1,200,000	SLE 患者の妊娠出産に関する診療の質指標開発と学会主導レジストリを用いた検証	
	教授	山岸 昌一	700,000	終末糖化産物阻害アダプターによる老年病の包括的な制御	
内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科学部門	准教授	福井 智康	1,200,000	糖尿病心筋症の新たな治療法の開発ー終末糖化産物阻害アダプターを用いた解析	
	准教授	森 雄作	1,000,000	終末糖化産物を標的とした新しい男性不妊症の治療法の開発	
	講師	寺崎 道重	500,000	動脈硬化症モデル動物への終末糖化産物アダプターの治療応用	
内科学講座 消化器内科学部門	講師	森 悠一	700,000	ボリマー自動診断システムによる、大腸内視鏡診療の変革	
	教授	新家 俊郎	700,000	AI ブロックを用いた高齢者急性冠症候群治療における出血性イベント最小化戦略	
内科学講座 循環器内科学部門	教授	鈴木 洋	1,000,000	病院前12誘導心電図の有用性の検証とその普及ー神奈川循環器救急レジストリー研究ー	
	准教授	磯 良崇	1,100,000	高齢心不全の心臓リハビリテーションにおけるマイクロ RNA を用いた効果予測法の開発	
	准教授	若林 公平	700,000	超解像能イメージングで狭心症治療法による冠動脈プラーク治療効果の新解明	
	講師	横田 裕哉	900,000	心臓リハビリテーションによる HDL 亜分画の変化及び冠動脈イベント回帰への影響	
内科学講座 腎臓内科学部門	教授	本田 浩一	1,400,000	慢性腎臓病の栄養障害・サルコペニアの発症・進展とエビデンスの解明	
	講師	和田 幸寛	300,000	実験的腎臓病モデルを用いた腎臓病進展因子の解明ーIL-34 とその関連因子の役割	
	講師	西脇 宏樹	262,807	ネフローゼ症候群における運動制限と腎予後の関連	
内科学講座 脳神経内科学部門	教授	小野賢二郎	1,300,000	膜障害に焦点を当てた高分子 Aβオリゴマーの毒性機構に関する検討	
	講師	有泉 裕嗣	1,500,000	化学療法誘発性末梢神経障害の腫瘍神経免疫学的病態解明による定量評価法の開発	
	講師	堀尾 直裕	700,000	アミノ基付加 DLC コーティングによる血管内皮細胞保護と、官能基が DLC に及ぼす効果の検討	
	教授	青木 武士	200,000	消化器癌における術中リアルタイムがん診断自動解析システムの開発	
解剖学講座 小児心臓血管外科学部門	准教授	大塚 耕司	2,300,000	より安全な低侵襲下手術を目的としたエネルギーデバイスによる熱損傷の検証	
	准教授	伊藤 寛晃	1,500,000	分光法を用いた血液・尿の網羅的解析による超早期がん診断と無標識循環がん細胞検出	
	講師	松田 和広	600,000	肝腫瘍に対する肝表層血管構造のAI診断に基づくリアルタイム解析システムの開発	
	兼任 講師	佐藤 純人	1,000,000	1064nm 近赤外ラマン分光法を用いた骨髄自律神経の温存と術後機能の向上	
外科学講座 消化器一般外科学部門	助教	田代 良彦	300,000	血液線維素溶解系因子による虚血再灌流障害の制御機構の解明と臨床応用に向けて	
	講師	佐藤 純人	1,000,000	ガンマ線照射による量化的・動的解析によるてんかん病変部・ネットワーク抽出法の開発	
	講師	佐藤 洋輔	1,300,000		
脳神経外科学講座	講師	佐藤 洋輔	1,300,000		

\*他学部については、次号以降掲載いたします。

# 富士吉田キャンパス体育祭

6月26日、富士吉田キャンパスで体育祭が開催された。例年は、寮祭の幕開けとして行われるが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため寮祭は秋以降に延期となり、体育祭のみの開催となった。

チーム別のオリジナルTシャツを着た学生たちは、綱引き、障害物競走、サークル対抗リレーなど様々な競技を通じ、学部・学科の垣根を越えて親睦を深めていた。



選手宣誓



ムカデ競争



綱引き



サークル対抗リレー

## 【体育祭の感想】



体育祭部門長  
医学部 染谷 康貴

私は体育祭の部門長を務めるなかで、組織を動かすことの大変さや課題にぶつかった際の対処を学ぶことができました。もちろんこれらのことは大切であり、普段の授業では味わうことのできない貴重な経験でしたが、最も大きく印象に残っていることは多くの方の協力がなければできなかったという感謝の気持ちです。

また、今年例年とはなにか違ったことを行う上に、新型コロナウイルス感染症防止のためうまくいかないのではないかと不安でしたが、カラーTシャツでの統一感やグラウンド中に響き渡る各カラーの応援で、学生のみなならず先生方も楽しめる

体育祭になりました。体育祭の企画から準備と片付けまでをサポートしてくださいました堀川先生をはじめとする先生方、けがや体調を崩した学生に適切な処置を行ってくださった寮監さんと校医の木村先生、たくさん迷惑をかけた体育祭部門員達、そして体育祭を全力で楽しんだみんな、本当にありがとうございました。



## 「寮生活の輝く一瞬」 新入生2名を表彰！ 昭和大学上條記念ミュージアム企画フォトコンテスト開催

2021年4月、校舎の周囲一面に満開の桜が咲き誇る中で迎えた入学式・入寮式。全人的な医療人教育の学びがスタートした。「コロナ禍においても、楽しく充実した寮生活を送る新入生の日常の一瞬は、見る人の心を和ませ、明るい気持ちと呼び起こす」との小口江美子館長の発案の下、「春絶景！自然豊かな寮生活での発見や喜びの一瞬」をテーマに「富士吉田キャンパス新1年生の今昔」フォトコンテストが行われた。今回は歯学部石川俊三さんと深澤快晴さんが入選し、プレゼンターの堀川浩之富士吉田教育部学生部長より、オリジナル表彰状と記念品が贈呈された。このコンテストの入選作品は、上條記念ミュージアムのホームページにて公開している。1965年から始まる寮生活の歴史を対比させると、富士北麓の素晴らしい四季や元気な学生の笑顔は不変的であることを実感する。寮生活や学生生活で培う至誠一貫の精神を根幹とした、新1年生の将来への大きな羽ばたきに期待したい。なお、このコンテストは季節を変えて継続していく予定。学生自身が切り取る「寮生活の輝く一瞬」の今後の投稿を心待ちにしている。



表彰された歯学部1年生の石川俊三さん(中央左)と深澤快晴さん(中央右)



昭和大学上條記念  
ミュージアムサイト  
<https://museum.showa-u.ac.jp>



## 昭和大学各附属病院へのご支援の御礼

新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療従事者に対して、多くの皆様から労いのお言葉や心温まるご支援を頂戴しております。お心遣いに深く感謝申し上げます。

現在、本学各附属病院では、医師、看護師の他、多くのスタッフが治療や院内感染防止に一丸となって取り組んでおります。今後も私たちは皆様からのご支援を力に変え、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。

皆様からのご支援に対し、重ねて御礼申し上げます。

### ご支援くださった方々

#### (一般の方)

中居 正広 様(タレント) / 江村 茂明 様(患者様)  
匿名希望 様

#### (企業・団体)

タリーズコーヒージャパン株式会社 様  
昭友商事株式会社 様  
神奈川県医療機器対策本部室 様  
社会福祉法人イクソス会つづきルーテル保育園 様  
城南信用金庫 理事長 川本恭治 様  
一般財団法人 mufdef 様 / ネスレ日本株式会社 様  
YOU ARE THE BEST ~医療従事者・飲食店ありがとうプロジェクト~ 様 / 株式会社アスター 様  
BentoDAOチャリティープロジェクト 様  
一般社団法人 日本医療資源開発促進機構  
NPO法人 Philia 様

### ご支援の内容

お弁当 / カップ麺・飲料 / 物産品 / お菓子 / 消毒液  
非滅菌手袋 / サージカルマスク / メッセージ

※順不同 7月30日時点

## 昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム紹介 第1弾

7月1日より、秋期プログラムの受講生募集を開始しました。全31講座を取り揃えた秋期プログラムでは、オンライン講義や対面とオンラインを併用したハイブリッド講義もあり、ライフスタイルに合わせた受講が可能となっています。今回は10月に開講するプログラムを紹介します。

プログラム名 (10月開講)	講師 (敬称略)
健康的なからだ作りに役立つ東洋医学を学ぼう	砂川 正隆 他
老化を防ぐ賢い生活の知恵	山岸 昌一
こどものアレルギー～基礎から最新情報まで～	今井 孝成 他
漢方薬・生薬入門	川添 和義
運動と芸術は健康の秘訣～楽器やデザインを通じた新たな視点～	下司 映一 他
身近な犯罪をめぐる諸問題	城 祐一郎
住民のための保険診療入門編	本間 哲也
介護者が知るべきお口のこと	伊原 良明 他
最高の医療を引き出すための患者力とは	今村 知世 他
コロナ禍での子どもとの関わり～院内学級の視点から～	副島 賢和
医療従事者のための英会話講座～基礎編～	クリス・シリー 他
呼吸で変わるコミュニケーション力	政岡 ゆり 他
複雑な問題の解決手法を考える～超高齢社会の医療・福祉を例に～	沼澤 聡 他
ICUにおける急性期リハビリテーション専門職の養成	田代 尚範 他
医薬品登録販売者のための実践薬学講座～スタンダードコースその1～	赤川 圭子 他
医療現場のデジタルトランスフォーメーション～カルテを電子化してみよう～	中村 明央
知っておきたい「スポーツと歯科の関係」	船登 雅彦 他
癒しのケア～大切な人を癒す手軽なケア～	田中 晶子 他
東京の庭園の魅力II～歴史と美を愉しむ～	鈴木 誠
筋肉は生きる力！～加齢に負けず筋肉の力でアクティブに生きる方法～	石田 良恵
“いまさら聞けない” スポーツ現場で役立つ医学的知識	船登 雅彦 他
宇宙教育のすすめ～身近にある宇宙技術の共有～	和田 直樹

※問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務局 (03-3784-8143)  
リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。  
次号では秋期プログラム紹介の第2弾を掲載します。



## 就任のお知らせ (7月13日 理事会承認)

医学部皮膚科学講座担当 教授、昭和大学病院皮膚科診療科長  
(勤務地：昭和大学病院皮膚科)



猪又 直子

現：横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学 准教授  
任命日：割愛日

## 昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

教育研究協力資金への寄付

【父 母】保坂 猛 様

昭和大学藤が丘病院への寄付

【一 般】和田 多香子 様

昭和大学病院への寄付

【一 般】鈴木 正裕 様

新型コロナウイルス感染症関連への寄付

【同 窓】足立 純枝 様(薬学部・6回生)